

【ベーシックトライアングを理解する】

我が社の経営理念は「良い商品を、良い状態で、良いタイミングで提供することが消費者の問題を解決する。」であるが、その理念を遂行するには4つの基礎的な事項を守らなければならない。

1、 絶対温度

物事を進める上で欠かしてはいけないものがある。

それは「熱意」である。

鉄は熱いうちに打てと言われるように、どんな困難な事でも温度の高い熱意があれば必ず鉄は形を変えることができる。

確かに能力や技術は必要である。とても大切だがもし欠けてしまっても組織に属している以上代用することができる。

しかし熱意を欠かしてしまうと冷えた鉄は固くなり形を変える事も困難になるだろう。

つまり、鉄を叩く方法や人は代わりがいる。何とかなる。しかし鉄の温度を下げてしまう事はより鉄を硬くし形をかえられなくなる為、本来の目的さえも見失ってしまう。一度あげた熱意を必ず保つ。絶対に下げない。硬化を防ぐ為の力、それが絶対温度である。

2、 スピード

絶対温度で用いた「鉄は熱いうちに打て」でわかるとおり、スピードは大切である。

スピードには行動的スピードと思考的スピードがあり両方のバランスを大切にしなければならない。思い立ったら即行動で、計画も無く動いてもやがて行き詰まる。素早い判断をしても行動が追いつかなければ何の役にも立たない。

一番の理想は「思いついたらやっていた」振り返ると色々な事象が重なり合い結果よき判断ができていた。つまり、正しい判断と行動を脊髄反射で行うようになる事だ。

ふいに熱いものに触れてしまった時、人はサッと触れた部位を遠ざける。損傷を最小限にする為の行動、思考、すべて正しい。

人は必ず正しい方向へ動くときは反射的にできるようにできている。

悪い方向への行動や思考は必ず故意に、そして意図的に行われるものである。

では反射的スピードを身につけるにはどのようにしたらよいか。

それは日頃から正しくスピードで判断し、対処することを繰り返し行い、身体に覚えさせる事である。スピードで対処したクレームは信用に変わる。スピードで対処した商談は良い結果を生む。たとえ面倒だなどか明日で良いと思っても実際そうであっても「今動けば未来が変わる」と自らに喝をいれ動く事が正しいスピードを生む。その成功体験がやがて反射的スピードに進化し、更なる精度を増していくだろう。

絶対に先送りにせず、瞬時に考えると同時に行動する事をスピード基本動作とできるように追求して欲しい。

3、 一点集中

一点集中とは散乱する力を一点に集めてエネルギーを強めて結果を示すものである。

1年間で10の事を成す時、11ヶ月目で平均的に進んでいて何も出来上がっていない人を数ヶ月ごとに数個の目標を達成していく人では、1年後の仕上がりと同じ10でも大きく違う。

事を成した最初の数個は期限を待たずに次のステップに進む事ができるからだ。

そして、その仕上がりにも差が出る。

エネルギーの集中はパワーと占有率によって説明される。皆、幼い頃に虫眼鏡で太陽光を集め黒く塗った紙を燃やした経験があると思う。

普段何気なく浴びている太陽光がものを燃やせるエネルギーを持っている事を説明できるのは集中であり、分散しているエネルギーを一点集中すればパワーを得られるのはどんな事にも当てはまる。

広範囲に暖められたエネルギーと一点集中し燃焼できるエネルギー。

同じエネルギー量でもどちらが結果として成果をだせるか明確である。

成果を出す事は占有率で説明される。

例えば一杯のインクをプールに垂らすとする。色は無色で変わらない。

しかしおちょこ一杯の水に垂らしたらどうだろうか。

一滴で何色が判断できる。

毎日プールに一滴ずつのインクを垂らしてやがて色づくのを気長に待つか。それとも色が確認できるおちょこの水を毎回用意し、色を確認できる事を集中して行うか。成果をだすのであればと器を浴槽にするか洗面器にするか、おちょこにするかは自ずと答えに導かれるだろう。一点集中とは、無駄に拡散しているエネルギーを目標に向かってフォーカスし、結果を示すことである。

4、 忍耐と知識の追求

不を無くす事には3つの力が必要な訳だが、この3つの力も下位2つの力を用いないとなすことはできない。

それは忍耐力と知識の追求である。

人は継続する事に多くの勇気を費やし、大きなエネルギーを使う。

継続する事は人生のなかで一番大変な事である。

絶対温度を保ち続ける事、すぐに動ける体制でいる事、一点に集中する事。これらはすべて忍耐なしでなす事はできない。

忍耐とはただ継続するのではなく、「どんなに困難であっても信じて希望を描き、なすべき事を継続して行う事」である。

また、知識を身につけることも忘れてはならない。余計な知識は勘を鈍らせスピードを落とす原因になることもある。理論武装することではない。仕事をこなす上で自分の力を最大限に引き出せる量の知識を持つことである。「絶対温度」「スピード」「一点集中」「忍耐」を遂行するために身につけるもの。それが知識でなければならない。